

事業所向け 児童発達支援自己評価表

		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員は指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	44	38	19	個室を必要とする個別の部屋が足りないことがある。運動する広い部屋がほしいと思う
	2 職員の配置数は適切であるか	38	50	13	支援の量が多い子どもたちのところでは少ないと感じる。余裕があるといいと思う。
	3 生活空間は本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	50	44	6	グループでは個々の課題に対応できていないところがあるが、スタッフ間で情報共有しながら改善策を立てて対応している
	4 生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子供たちの活動に合わせて空間となっているか。	44	38	19	掃除まで行き届いていないところある
業務改善	5 業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	69	25	6	定期的に会議を行っている
	6 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	88	13	0	アンケート調査を実施している
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果をふまえて、事業所として自己評価を行うとともにその結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	63	31	6	ホームページで自己評価を公表しているが、会報は個人情報等もあり公開していない
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	88	13	0	月に一回程度行っている
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	81	19	0	ニーズを把握していてもすぐには添えなかったり保護者の理解を十分に促せないこともある。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	69	31	0	子どもによってちがうがセラピストごとに評価は行われている
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	81	19	0	難しい児童に関しては支援内容が具体的に設定が厳しい時もある
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	88	13	0	保護者の相談により変更する場合もある。その都度計画を確認する必要がある。
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	75	25	0	おこなっている
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	75	25	0	活動については時期や季節に合わせたものを行っている
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	100	0	0	作成している
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	81	19	0	十分に時間を取れないこともあるが少しの時間でも行うようにしている。
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	69	31	0	反省会だけの時間は取れないため片付けをしながら話すようにしている。特に調子を崩した児童がいた場合は次回に向けての工夫を相談・共有する
	18 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	81	19	0	当日に記録することが厳しいことがある
	19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	88	6	6	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100	0	0	ふさわしい職員が参画している
	21 母子保健や子供・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	69	31	0	可能な限り行っている
	22 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	69	31	0	緊急時の対応を共有している。担当者会議のときに情報共有することがある。
	23 (医療的ケアが必要な子ども等を支援している場合)子どもの主治医や医療連携看護師と連絡体制を整えているか	75	25	0	主治医との連絡は母を挟んでの連絡になっている

関係機関や保護者との連携	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	88	13	0	サポートブックは作っているが、難しいところもある
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	56	38	6	学校との連携を取っている
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	50	44	6	専門機関として連携をとっているつもりである
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	31	31	38	兄弟児との交流の機会はある。
	28	自立支援協議会障がい児支援部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	31	25	44	今までそのような部会がなかったので対応できていないが、今回発足し、動き出している
	29	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	88	13	0	毎回フィードバックをおこなっている。共通理解できるよう努めている。グループ内では保護者と話す機会が少ないが、個別担当者等から情報をしっかり得たい。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	31	25	44	ペアレントトレーニングには以前から興味を持っているが、なかなか取り組めない。個別で必要なところは支援している。
保護者への説明責任等	31	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	69	31	0	契約書に基づいている
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	94	6	0	同意を得ている
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	81	19	0	十分な支援ができていないかは常に振り返る必要がある
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	75	13	13	保護者同士のつながりを作る場を設けていきたい。集団療育のフィードバックの時間におこなっている。
	35	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100	0	0	
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	94	6	0	
	37	個人情報に十分注意しているか	100	0	0	している
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100	0	0	職員のスキルに応じてしている
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	25	44	31	兄弟児を交えての活動を行うことがある。
非常時の対応	40	緊急時対応マニュアル、災害マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	88	13	0	しているが、定期的継続が必要
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	88	13	0	まだまだ足りていない。グループの中でどう対応するか話をしておきたい。
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100	0	0	保護者からの連絡や前日の様子を共有している。担当児の状況を再度確認したい。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	88	13	0	している
	44	ヒヤリハット報告内容は、事業所内で共有し、次の事故を未然に防ぐよう努力しているか	88	13	0	共有できる時間が少ない
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	88	13	0	研修の一つとして虐待防止を取り上げることがある
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	44	50	6	身体拘束をおこなっていない。保護帽についてはのせている